

## 「目にやさしい」を意識する



## 漢字3割、ひらがな7割

文章を書くときには、漢字を詰め込みすぎないように気をつけましょう。漢字ばかりの文章は第一印象で損をします。

パッと見た瞬間に「むずかしそう」「理解するのに時間がかかりそう」と思われやすく、最後まで読んでもらいにくいのです。

ポイントは「ひらがなを多めに」書くこと。

一般的な日本語の文章は漢字が4割、ひらがなが6割といわれています。

これを漢字3割、ひらがな7割、つまり、漢字を少し減らしてひらがなを多用すると、目にやさしくやわらかな印象になります。

たとえば、「～する事」を「～すること」、「御家族・御来店」などの「御」を「ご」にして「ご家族・ご来店」、「宜しくお願い致します」を「よろしくお願いいたします」など。

漢字で書くことが間違いではなく、見た目をやわらかくして読み手に配慮する工夫の一つとして取り入れてみてください。

## Before

ほかに「有難う」を「ありがとう」など

この度はお目出とう御座います。……

更なる御活躍を祈願致します。

どうか御自愛下さい。

「折ってい・願ってい(おり)ます」のほうが与える印象がやわらかい



## After

このたびはおめでとうございます。

さらなるご活躍を願っております。

どうかご自愛ください。

## POINT

- 硬い印象でないかチェックする
- ひらがなにあらためられる漢字を探す
- 早めに改行し、余白をたっぷり取る